

# 京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会 (第13回)

平成28年11月4日  
京都府スポーツ施設整備課

## アイススケートへの関心の程度

	①関心度		②よく見るスポーツ		③この1年間にテレビ・ラジオで観戦したスポーツ	
1位	フィギュアスケート 野球	45%	野球	36.8%	サッカー フットサル	66.5%
2位			サッカー	30.1%	野球	65.3%
3位	サッカー	42%	バレーボール	18.6%	スケート フィギュアスケート	58.0%
4位	テニス	39%	テニス	14.6%	マラソン、駅伝	53.2%
5位	バレーボール	36%	スケート フィギュアスケート	13.7%	テニス	53.1%
【出典】	スポーツ関心度調査2016(レピュコム(現ニールセン))		2015スポーツ・マーケティング調査(マクロミルと三菱UFJRC)		都民のスポーツ活動に関する世論調査H26(東京都)	



○関心は高いが、スケート場が無いと出来ないスポーツ  
○スケート場が出来れば・・・  
「見るスポーツ」→身近に「するスポーツ」

## スポーツ活動への参加状況

	参加人口 (万人)	参加率 (%)	年間平均 活動回数 (回)	参加 希望率 (%)
卓球	700	6.9	14.0	5.7
バドミントン	700	6.9	12.5	6.9
キャッチボール、野球	680	6.7	14.2	5.2
テニス	560	5.5	27.2	9.1
スキー	480	4.7	4.4	9.0
サッカー	450	4.5	20.2	3.2
バレーボール	420	4.2	18.0	2.5
バスケットボール	350	3.5	15.6	2.5
ソフトボール	290	2.9	11.4	1.8
スノーボード	280	2.8	5.1	6.9
アイススケート	200	2.0	2.3	2.8
武道	170	1.7	31.0	2.4
乗馬	70	0.7	7.0	5.0
ゲートボール	60	0.6	11.4	0.8
サーフィン、	50	0.5	18.3	2.6

出典:レジャー白書2015

- ・参加率:1年間に1回以上おこなった人の割合
- ・年間平均活動回数:1人当たり年間活動回数の平均
- ・参加希望率:将来やってみたい、あるいは今後も続けたいとする人の割合

2

## レジャー・スポーツとして行った人数

- 京都府では、約5.2万人  
(261万人の2%)
- 延べ参加人数は、約12万人  
(年間平均活動回数2.3回)
- 参加希望人数は、約7.3万人



○レジャー、スポーツとして、また競技として、一定規模のスケート利用のニーズがある

3

## あり方懇の議論経緯

○第1次提言で、アイスアリーナについても競技団体から要望があり、必要性について一定の認識

(団体からのアンケート調査による要望)

- ①国際的な試合や全国的な試合を誘致できる体育館や陸上競技場の設置
- ②球技場の設置
- ③多目的ドーム、スケート競技施設、グランドゴルフ専用施設、武道場、クライミングウォール、仮設射場の設置
- ④テニスコートの整備
- ⑤陸上競技場、野球場の改修(夜間照明、スタンド屋根)

○施設整備のあり方についての論点

- ①市民スポーツ施設の整備を図るため、府民ニーズを踏まえた府立のスポーツ施設の総合的リニューアル
- ②現在の府立のスポーツ施設では対応できないスポーツ施設の重点的整備

4

## 第1次提言 まとめの方角

①府立のスポーツ施設の総合的リニューアル

- ・リニューアルには、国際的な試合や全国的な試合を開催できるよう施設の改善を行うべき
- ・府立体育館を、国際的な試合等に対応できるよう優先的にリニューアル整備を行うべき
- ・山城では、府民ニーズに応えるテニスコート等のリニューアルやグランドゴルフ等新たなスポーツ種目に対応できる整備にも積極的に取り組むことが望まれる

5

## 連盟の考え(要望内容)

### <連盟>

- 施設建設において、民間資金の活用
- 維持管理において、民間ノウハウの活用



### <府への要望>

- 山城総合運動公園内の用地提供(借地)

6

## 冬季スポーツ振興の機会

○アジアで2大会連続の冬季オリンピック開催  
(2018 平昌(韓国)、2022 北京(中国))



府民の冬季スポーツ振興の好機

7

## リンク整備の考え方

- メインリンク(スケート連盟:国際規格を希望)
  - ・一般利用のほか、フィギュア、アイスホッケー、ショートトラック選手の練習場としての機能を確保
  - 国際規格 30m×60mが必要
- サブリンクの併設(スケート連盟:併設を希望)
  - ・競技会等があっても一般利用を妨げない
  - ・体験教室などレベルに応じた使用が可能
  - ・カーリングなど新しい種目への対応が可能
  - ・近年新設されたほとんどのリンクで併設
  - 西宮10m×30m、埼玉16m×46m程度のサブリンクを併設

8

## 観客席の設置について考え方

近畿の競技会開催状況(2016/2017 フィギュアスケート)

選手権大会	アイススケート場	種別	観客席数	会場の状況
国際	(近畿未開催)			プール、フロアとしても利用可能な総合型アリーナ
国内	全日本	大阪府立門真スポーツセンター	冬期 10,000	
	シンクロナイズドスケーティング	滋賀県立アイスアリーナ	通年 2,022	観客席がある公設アイスアリーナ
	ノービス	尼崎スポーツの森(兵庫県)	冬期 2,000	
	西日本	京都市立	冬期 2,200	
	ジュニア	京都アクアリーナ		
	学生	大阪府立		
近畿	臨海スポーツセンター	通年 500		

- ・観客席を設けても大会は少ない
- ・観客席を設ける場合、建物を大きくすることが必要
- ・イニシャルコストの増加に加え、大空間による空調費の増加
- ・大会は観客席のある京都アクアリーナで対応

府 → 一般利用や競技練習に特化した施設

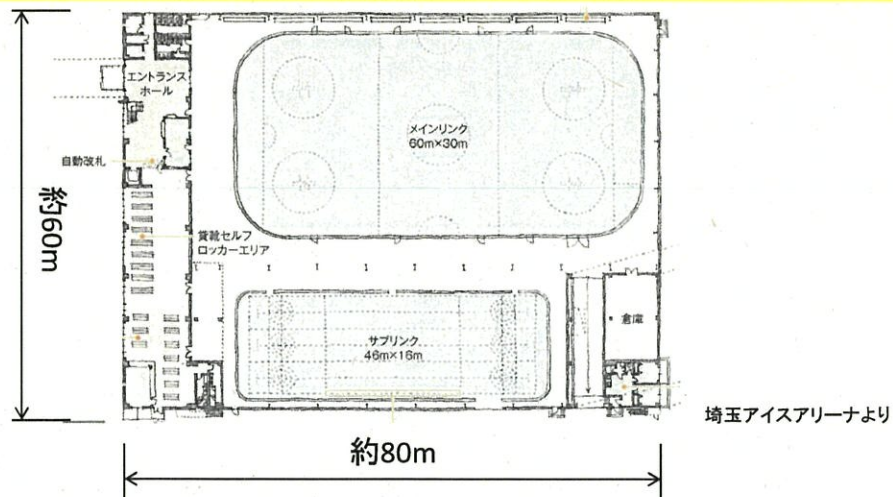
9

## 駐車場の必要規模の考え方

- 利用が多い日の利用者数予測  
約600人(西宮利用者数から推計)
  - 自動車分担率75%、平均乗車人数2.5人とする  
と、 $600 \times 0.75 / 2.5 = 180$ 台
  - 駐車場の回転率を2回とすると、  
 $180 \text{台} / 2 = 90$ 台
- 90台程度の駐車場を想定

10

## 建物・敷地の大きさ



- 建築面積 約4,800 $\text{m}^2$ (約60m×約80m)  
消防用通路含め 約6,300 $\text{m}^2$ (約70m×約90m)
- 駐車場 約90台(約2,700 $\text{m}^2$ )

敷地 約9,000 $\text{m}^2$ +進入路  
(※各候補地によって必要面積が異なる)

11

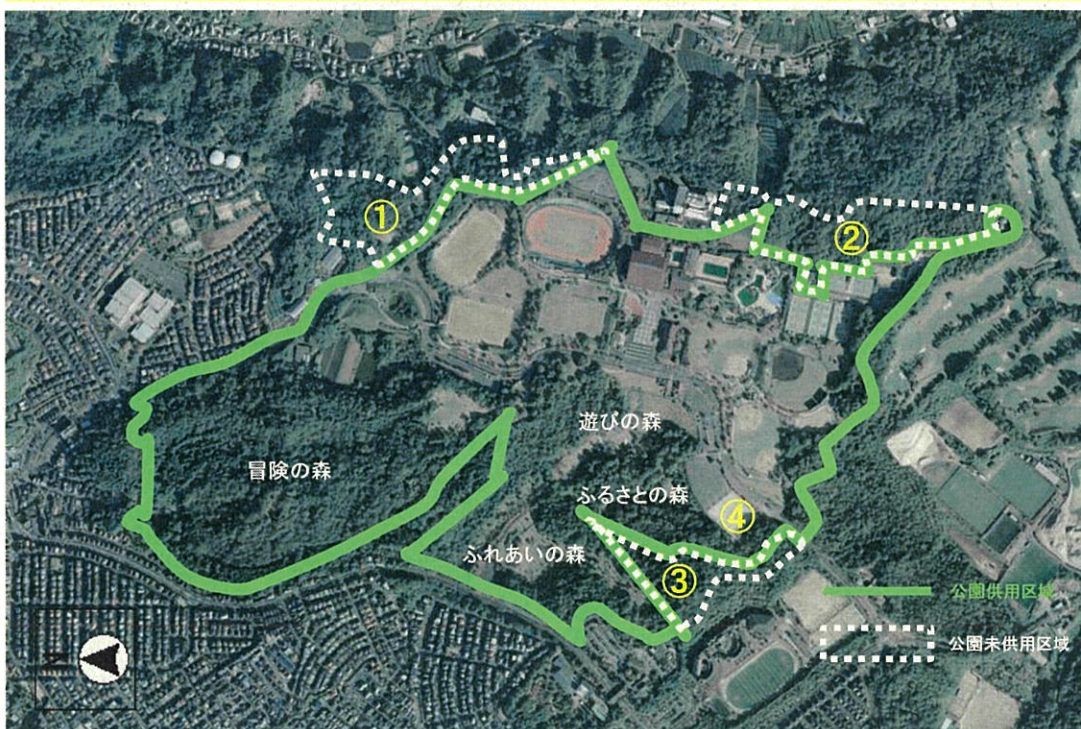
## 山城総合運動公園における適地検討

### ◆検討内容

- 設定した規模のアイススケート場を設置すると仮定
- 前回示した4つの候補地について、概算の造成費用を算出

12

## 候補地(航空写真)



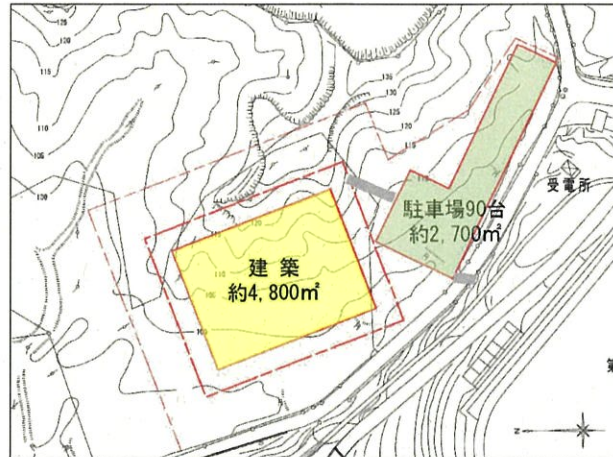
未供用区域及び供用区域内の運動施設がない箇所(「冒険の森」等を除く)から選定

13

## 候補地①

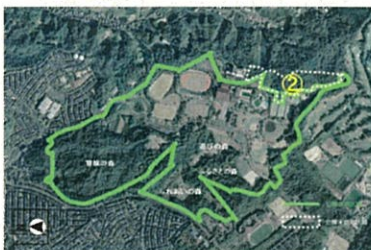


番号	①
供用状況	未供用(約6.9ha)
公園外道路との接続	容易
公園機能への影響	なし
通年営業	可能
造成工事面積	約2.1ha
概算造成費用	2.3~2.7億円

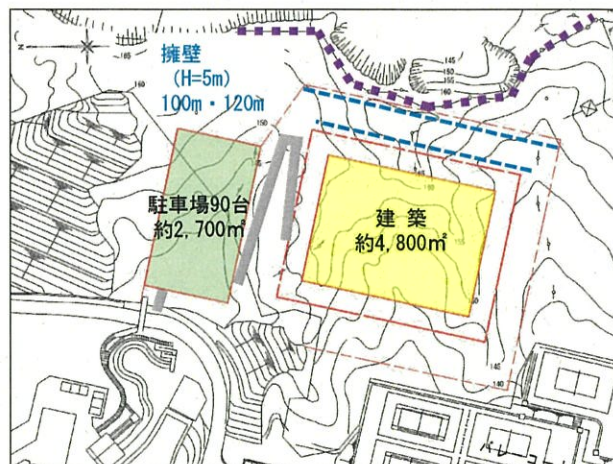


14

## 候補地②



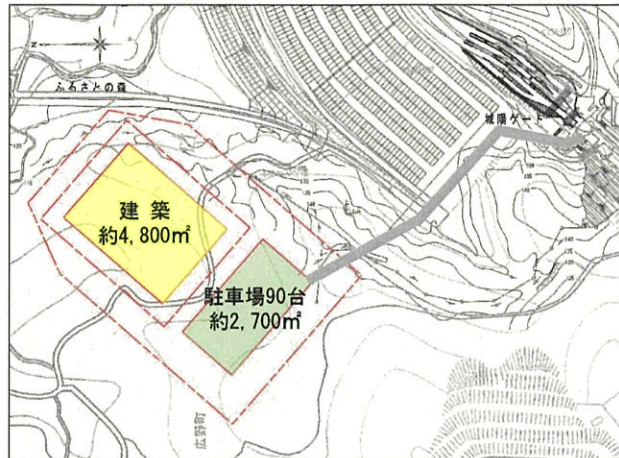
番号	②
供用状況	未供用(約4.0ha)
公園外道路との接続	園内道路を經由
公園機能への影響	あり (工事中の公園利用)
通年営業	公園管理上 難しい
造成工事面積	約1.9ha (構造物必要)
概算造成費用	2.8~3.3億円



15



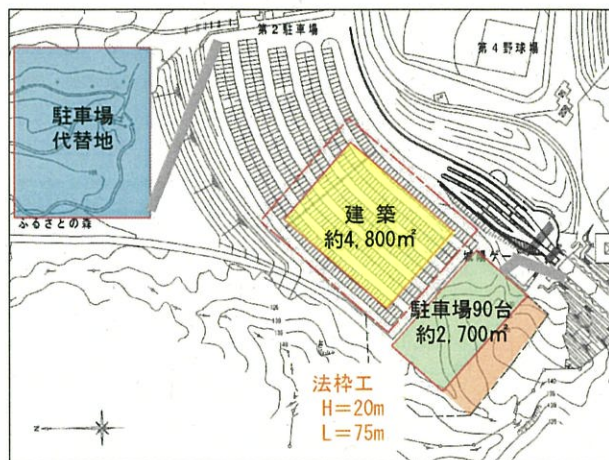
## 候補地③



番号	③
供用状況	未供用(約5.0ha)
公園外道路との接続	専用進入路必要
公園機能への影響	あり (園路付替必要)
通年営業	可能
造成工事面積	約2.4ha
概算造成費用	3.3~3.8億円

16

## 候補地④



番号	④
供用状況	供用済
公園外道路との接続	専用進入路必要
公園機能への影響	あり (代替駐車場必要)
通年営業	可能
造成工事面積	約2.6ha
概算造成費用	3.1~3.6億円

17

## 府立山城総合運動公園内候補地の比較

番号	①	②	③	④
供用状況	未供用(約6.9ha)	未供用(約4.0ha)	未供用(約5.0ha)	供用済
公園外道路との接続	容易	園内道路を經由	専用進入路必要	専用進入路必要
公園機能への影響	なし	あり (工事中の公園利用)	あり (園路付替必要)	あり (代替駐車場必要)
通年営業	可能	公園管理上 難しい	可能	可能
造成工事面積	約2.1ha	約1.9ha (構造物必要)	約2.4ha	約2.6ha
概算造成費用	2.3~2.7億円	2.8~3.3億円	3.3~3.8億円	3.1~3.6億円

18

## 近隣スケート場の交通アクセスの比較

	最寄り駅からの アクセス状況	駐車場
山城総合 運動公園	JR宇治駅からバスで約15分 近鉄大久保駅からバスあり	アイススケート場用約90台程度 公園と同額とすると400円/日
滋賀県立 アイスアリーナ	JR瀬田駅からバスで約10分	約151台 無料
京都 アクアリーナ	阪急西京極駅から徒歩5分	約100台 500円/2h



- ・京都市西部、阪急沿線からは、京都アクアリーナが近くて便利
- ・京都市東部からは、滋賀県立アイスアリーナが近い場合も
- ・京都府・市南部からは、山城総合運動公園が近い
- ・山城が著しく交通アクセスが悪い訳ではない

19

## 交通アクセスに関する検討

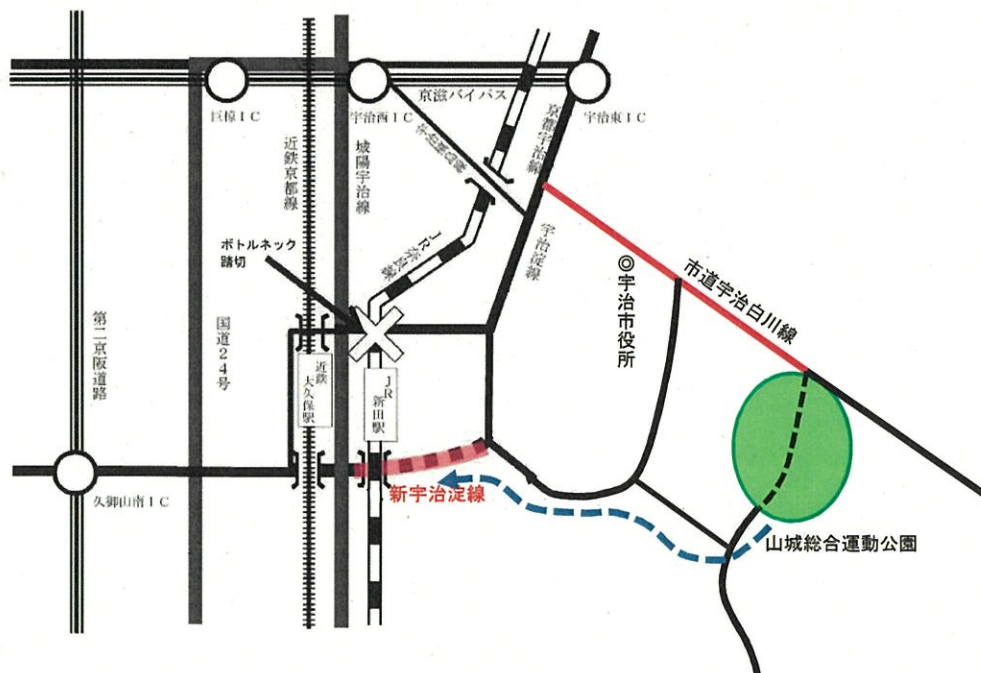
○宇治ゲート側市道の渋滞について

- ・市道宇治白川線の交通量 11,280台/12h(H27.11)
- ・公園で大会等開催時の帰りに、渋滞で公園から出にくい状況が発生

→新宇治淀線が8月に開通し、城陽ゲートから大久保まわりで京都方面に帰るルートにより、渋滞の分散が見込まれる

20

## 新宇治淀線



21

## 民間手法を活用した事業フレーム



22

## ひょうご西宮アイスアリーナの事例

- ・平成25年8月開設
  - ・建物延床面積:約3,900㎡
  - ・兵庫県立総合体育館敷地内の土地を無償で借りて建設
  - ・メインリンク(国際規格)とサブリンクを併設
  - ・観客席なし
  - ・最新の冷却システム、断熱システムなどを採用、電気代を削減
  - ・太陽光発電の設置
  - ・自動改札、靴貸し出しセルフ化(人件費削減)
  - ・建設費:約12.6億円
  - ・利用者数:年間約13万人
  - ・運営費:年間約1.6億円
- 自治体に負担が生じるような問題は発生していない

23

## 埼玉アイスアリーナの事例

- ・平成26年11月開設
  - ・建物延床面積:約5,300㎡
  - ・上尾運動公園敷地内の土地を無償で借りて建設
  - ・メインリンク(国際規格)とサブリンクを併設
  - ・観客席なし  
(仮設観覧席200席程度設置可能、ホール棟に観覧エリア)
  - ・最新の冷却システム、断熱システムなどを採用、電気代を削減
  - ・太陽光発電の設置
  - ・自動改札、靴貸し出しセルフ化(人件費削減)
  - ・建設費:約18.6億円
  - ・利用者数:年間約13万人
  - ・運営費:年間約1.9億円
- 自治体に負担が生じるような問題は発生していない